

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和5年度 第5回入間市障害者福祉審議会
開 催 日 時	令和6年1月18日(木) 午後3時00分 開会 / 午後4時00分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 501会議室
議 長 氏 名	今井 英雄
出席委員(者)氏名	今井 英雄 福井 恵子 田邊 仁 内藤 英子 森田 秀子 金平 里美 石川 孝司 粕谷 浩史 橋本 敏子 末松 敦子 新井 豊吉 黒古 次男 來徳 満
欠席委員(者)氏名	磯田 英穂 野村 優美
説明者の職氏名	主幹 千葉 茂
会 議 次 第 (公開)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 4 その他 5 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	1 次第 2 障がい者福祉プラン案
事務局職員職氏名	福祉部長 市川 一博 福祉部次長 忽滑谷 敦子 障害者支援課長 小笠原 昌平 主幹 天満 葉月 主幹 千葉 茂 副主幹 小俣 里子
会議録作成方法	要点筆記

会議録（２）

議事の概要（経過）

○ 議題

（１）次期障害者計画について

事務局から報告。

◎ 質疑

黒古委員

交差点における点字ブロックの充実が必要だと感じている。視覚障がい者の方は、交差点の段差でそこが交差点だということを認識しているようだが、車椅子の方はその段差が越えられないという現状があるので、市内の点字ブロックの整備を進めていただきたい。

新井委員

障害の「がい」の字について、どのような議論がされたのか。

事務局

３年前の議論の詳細は把握していないが、「害」の意味として、災い等の否定的な意味があり、障がいは本人の意思ではなく、病気や事故に起因するものであることから、漢字を用いることは好ましくないという意見があった。本プランでは、ノーマライゼーションの社会を目指す上で、障がいのある方に対する差別や偏見を無くし、障がいに対する理解を深める等、市民啓発の観点からひらがなとしている。但し、法令や条例等に基づく制度や、施設名等の固有名詞については、そこで使用されている表記を用いること、と現プランにも掲載している。

新井委員

当事者と話しをすると、社会と自分達の間障壁を障害と言って認めており、自分に害があるということではないと認識しているので、「害」を使用している人が多い印象がある。ひらがな表記にすることで小手先を変えている、という意見があることも覚えておいていただきたい。

今井議長

議 事 の 概 要 （ 経 過 ）

以前から審議会で意見は出ていた。必ずしも法律に合わせる必要はないという議論と、医学的モデルにおいても、漢字だと当事者の方から不満がある、という意見からこの様な結論に至っている。

黒古委員

当事者は、社会的差別の象徴としてあえて漢字を使用しているが、私自身は、不自由を抱えている人に対して漢字を使用して表記することに抵抗がある。

森田委員

障がい者当事者団体としては、団体によって表記が違って良いと思っている。それぞれの団体の考え方も尊重していただきたい。

福井委員

音声読み上げソフトでは、漢字かひらがなかで違和感を感じることはない。

粕谷委員

23ページについて、危機管理課から市民安全課に変更される範囲を教えてください。

事務局

全ての範囲である。組織の見直しで4月から新しい部署が担うことになっている。パブリックコメントのタイミングでは危機管理課となっているが、議会に通ったタイミングで新しい課の名称に変更させていただく。

粕谷委員

77ページの発達障がい者等に対する支援について、市として障がい児だけでなく、障がい者に向けての取り組みを考えていただきたい。

事務局

障がい児に関しては子ども支援課に確認しながら進めているが、障がい者については、県

議 事 の 概 要 （ 経 過 ）

と連携をしながら、県の情報を各相談事業所等に情報提供している。市独自の発達障がい者を対象とした支援については話が進んでいないのが現状である。

(2) その他

事務局より、入間市身体障がい者等診断書料補助事業の廃止について報告。

◎ 質疑

内藤委員

生活保護受給者や非課税世帯等、困窮者も一律廃止となるのか。補助を受けるための初めの一歩でつまずいてしまう家庭があると考えられる。

事務局

手帳取得後のサービス利用にメリットがあるので、廃止の方向で考えている。

黒古委員

生活保護受給者や非課税世帯に対する経済的支援の観点で言えば、たとえ5千円でも必要な金額である。生活保護受給者には医療費補助があるが、手帳取得のための診断書に対する支援は対象になっているのか。

事務局

非課税世帯への診断書の補助は行っていないが、生活保護受給者は医療費助成がある。

田邊委員

交付実績について、令和4年度は半数が再交付となっているが、新規以外は補助の対象外となるケースについては検討されているのか。

事務局

事業の廃止を検討するにあたり、診断書料の助成について試算した結果、全面的に廃止という結論に至っている。

議 事 の 概 要 （ 経 過 ）

來徳委員

来年度の障害者支援課の予算が減額する中で、何を削るかという発想なのか。

事務局

診断書料補助事業の一律廃止について、担当課として積極的に廃止を進めたいわけではない。令和5年度の障害者支援課の全体予算は約39億円となっている。障害福祉費が増えて、今年度は障害福祉サービスや障がい児通所の部分で約30億円となっている。年々予算が増えており、サービスの利用を制限することは現実的に難しい状況の中で、障害者支援課の予算が今後も増える見込みである以上、今後もさらに他の事業についても見直しが必要である。障害者支援課だけでなく、全庁的に取り組む方向である。

今井議長

審議会で可否を決定することはできないと思うが、意見を集約したいと考えている。

※提案について賛成の方、ソフトランディングを期待する方、反対の方、それぞれ挙手。挙手の結果、提案について賛成の方0人・ソフトランディングを期待する10人・反対3人。対応は事務局一任とするが事務局は審議会の意向に配慮して調整を進めて欲しい。

黒古委員

答申までの進め方について説明をお願いしたい。

事務局

第6回審議会は2月15日（木）を予定している。

最終的なプランをお示しするので確認をお願いしたい。市長への答申日程は調整中である。

○ 閉会

議 事 の 概 要 (経 過)

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 5 年 2 月 26 日

議 長 の 署 名

今井英雄

議長が指名した者の署名

粕谷浩史